

目標達成計画

作成日: 平成 28年 6月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束がもたらす弊害を確認し、「緊急やむを得ない場合」についても厳密に検討し、記録や再検討を行うなどの体制づくりへの取り組みに期待したい。	施設職員全員、身体拘束について更に知識を深め、統一したケアにつとめる。	身拘束について研修、勉強会を行う。入所時拘束に関する説明を、利用者、御家族に再度説明する。	6ヶ月
2	12	利用者、家族のニーズを汲み取りながら、体制を整える事を期待したい。研修、勉強会を重ねながら、事業所の対応力をつけていくことがのぞまれる。	施設職員全員、終末期を理解し、重度化や、終末期に対する、統一したケアができる、施設づくり。	当ホームにおける重度化した場合における対応に係わる指針に沿い、研修、勉強会を行い、利用者、御家族の確認を事前に行い対応を行う。	6ヶ月
3	13	災害時に備えて、食糧や飲料水、寒さをしのげるような物品等の準備を行う事を期待したい。	寒さしのぎの物品等、準備を考えている。	食糧、飲料水の数日間の備えは出来ている。寒さしのぎの物品等の準備を行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月